

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

株式会社カワグチマック工業 段ボール製ディスプレイ

きれい、早い、強い、安い 木に代わる新建材で 什器市場に変革の風

スウェーデン生まれの強化ダンボール「リボード (Re-board)」は、頑丈で軽い、成形・加工が容易、印刷適性が高いなどの機能特性を持っています。また、100%紙から作られており再生可能な資材であることから、EUを中心に展示会などのディスプレイ用途で需要が拡大しています。カワグチマック工業は国内におけるリボードの最大取り扱い企業として、リボード加工事業を増やしています。

カッターとプリンターをそろえ、2010年からリボードを使った事業を本格的にスタートしました。当初は思うように普及が進まず、同事業を手掛ける同業者が次々に撤退する中「ウチは本業の包装資材用段ボール事業がベースにあつたため継続できる余力があり、着実に経験を積むことで技術的なノウハウを身に付けることができました」と川口徹社長は振り返ります。

14年、中小企業基盤整備



あまがさき産業フェア2016に出展した自社ブース

機構によるマッチング事業で接点が多かった百貨店、広告代理店などから「催事用のディスプレイに使いたい」と一気に受注が増加。その後ディスプレイ事業部を立ち上げ、カッター2台、プリンター2台を新たに導入し、事業を拡大していきます。最大の強みは設計力。それまで金型の設計を担当していた人材を中途採用し、発注者からのイメージを基に形状を忠実に作り上げる設計力でリピーターを増やしていきました。

現在、展示会のディスプレイに使われる素材はほとんどが木材で、展示会終了後は産業廃棄物として大量のごみになって捨てられています。これに対しリボードは再生可能な資材であるだけでなく、製造工程が自動化されているため早く、安くできることも特長です。この5年で同事業の売り上げは1,000万円から1億6,000万円に急成長。市場開拓の余地はまだ十分にあり、「まずは認知してもらおうことから」と工場見学を積極的に受け入れています。併せて人材育成にも力を入れ、事業拡大に備えています。



JAXA向けに製造した「H3ロケット」の模型

◎株式会社カワグチマック工業の
段ボール製ディスプレイ

株式会社カワグチマック工業 / 所在地: 尼崎市南初島町12-9 / 代表取締役社長: 川口徹
事業内容: 段ボール加工
TEL 06-6488-6312 / URL <http://www.kawaguchi-mac.co.jp/>

編集後記

「成長期待企業のイチオシ!」で取材したカワグチマック工業のオフィスでは、社員が使う机、棚のほとんどがリボードで作られていました。ディスプレイだけでなく、オーダー家具の用途へも広がっていきそうです。

JUMP

2019年9月号 令和元年8月30日発行
発行人: 赤木正明 編集人: 政辻孝克

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>